

くい組 10月

自然×五感



落ち葉、草、石、なんでも見つけては手に取り口に運ぶ。石をなめて嬉しそうに笑ったり、草を口に入れてちょっと苦そうな表情を見せたいしていた。



大きい石を見つけて驚いた表情を見せ、眉間に皺を寄せながらおそろおそろ手を伸ばしていた。触れてゴツゴツした感触を確かめ、転がしたり、持ちあげて重さを感じたりしていた。



保育者が手を伸ばすと、いやと手を振りほどいて自由に歩き始めた。保育者と散歩車を押してみたり、花に触れてみたり、興味のあるものを見つけると一目散。枯れたアナベルを手にとると、触れて花がぽろぽろと落ちる様子が楽しいようで嬉しそうな声を上げていた。保育者が木を指差して「咲いているね」と話すと「あっ」と指差したり、鳥の鳴き声が聞こえると「ん？」と声をする方向を探したいしながら、触れて見て聞いて散歩を楽しんでいた。